

日本動物考古学会 第8回大会 (第2報)

参加者の皆さま

春陽の候、皆さまにおかれしては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、来る7月3日・4日の両日、オンラインにて開催いたします日本動物考古学会第8回大会のプログラム等をお送り致します。

ご参加の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまには、別紙諸注意をご一読いただき、ご準備頂きますようお願い申し上げます。

オンライン開催は本学会としては初の試みとなりますが、役員会で実施方法について検討やリハーサルを重ねているところです。初めての開催で不慣れな点多々あるかと思いますが、円滑な運営を行うことができるように努めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

2021年4月28日

日本動物考古学会 会長 樋泉 岳二

参加費・懇親会費

オンライン開催のため、参加費は無料とします（事前登録が必要です）

なお、懇親会は行いません

大会に関するお問い合わせ先

〒630-8577 奈良県奈良市二条町 2-9-1

奈良文化財研究所 環境考古学研究室

E-mail: yamazaki-t67@nich.go.jp

1. オンライン開催について

今回の大会では、Web 会議サービスの Zoom ミーティングを使用します。インターネットに接続できる機器（パソコンを推奨）が必要です。通信速度が不足・安定しない接続環境では、音声や動画が乱れる場合がありますのでご注意ください。

大会への参加には事前申込が必要となります。発表申込は締め切りでしたが、参加申込は6月18日（金）まで受け付けます。

発表抄録集は6月下旬に公開します。あわせて、大会の発表者・聴講者に向けたオンライン参加の簡単な手引きも準備する予定です。また、事前にテスト日を設けて、希望者が Zoom の動作確認する場を設けます。接続テストの日時は改めてご案内いたします。

2. 発表要旨の作成・提出（発表者の皆様へ）

発表時間は、1件20分（発表時間15分、質疑応答5分）です。

研究発表を申し込まれた方は、以下の内容で発表要旨を作成・提出して下さい。

- ・発表題目（日本語および英語）
- ・発表者全員の氏名（日本語および英語）
- ・発表者全員の所属（日本語）
- ・本文（日本語：600字以内）
- ・代表者の連絡先メールアドレスを掲載する／掲載しない
(発表後の意見交換を促進するため、希望者はアドレスを掲載します)
- ・事前の Zoom 動作確認を希望する／希望しない
(Zoom 発表に慣れていない方はぜひ参加して下さい)

※提出期限：2021年5月28日（金）

※送付先：yamazaki-t67@nich.go.jp（事業幹事：山崎健）

メールの標題を「第8回大会発表要旨（氏名）」として下さい。

※大会開催年度までの会費納入が必要ですので、提出期限までに納入して下さい。

※Zoom の画面共有機能を用いて発表者が自身で操作していただきますが、何らかのトラブルに備えて、事前に発表スライドの提出をお願いする予定です。

研究発表プログラム

7月3日(土)

Zoomの入室開始 12:30～

開会の辞 12:50～13:00

研究発表

- 13:00～13:20 「縄文時代における「刺突具」の機能と用途
ー北黄金貝塚出土骨角器の形態・使用痕の分析ー」
青野友哉
- 13:20～13:40 「遺跡出土マグロ属の体長推定と体長組成」
松崎哲也
- 13:40～14:00 「素材の獲得からみた東北地方太平洋沿岸域におけるフネガイ科製貝輪の研究」
山田凜太郎

(20分休憩)

- 14:20～14:40 「群馬県居家以岩陰遺跡出土の動物遺存体から見た縄文早期の動物資源利用
ー2017・2018年資料を中心にー」
○山崎京美・黒住耐二・江田真毅・大内利紗・谷口康浩
- 14:40～15:00 「イボキサゴの形態変異からみた古環境復元への試案」
畑山智史
- 15:00～15:20 「千葉県北西域における縄文時代後期の貝類利用とその時期差」
坂本匠

(20分休憩)

- 15:40～16:00 「下田原貝塚と八重山諸島における先史漁撈の再検討」
○小野林太郎・片桐千亜紀・大堀皓平・クララ・ブランジェ
- 16:00～16:20 「先史時代琉球列島におけるイノシシ属の利用について」
○青野圭・本郷一美・片桐千亜紀

総会 16:30～

7月4日（日）

Zoom の入室開始 9:30～

研究発表

- 10:00～10:20 「縄文時代前期の北陸地方における採貝活動」
小島秀彰
- 10:20～10:40 「弥生時代におけるニワトリの継代飼育の可能性を探る
—奈良県田原本町唐古・鍵遺跡資料の検討から—」
○江田真毅・泉洋江・米田穰・藤田三郎
- 10:40～11:00 「古墳時代のヤマトにおける牛馬渡来と普及」
丸山真史
- 11:00～11:20 「群馬県金井遺跡群における鹿角利用」
山崎健
- (50分休憩)
- 12:30～12:50 「古病理と解体痕による中世馬の用途の検討」
植月学
- 12:50～13:10 「羅臼町オタフク岩洞窟および北見市中ノ島遺跡出土ヒグマ遺体の年代と安定同位体比
—「熊送り」儀礼の起源と近世の挙行形態をめぐって—」
○佐藤孝雄・松林順・米田穰
- 13:10～13:30 「1640～1663年に限定される貝塚の動物遺体
—北海道伊達市カムイタプコプ下遺跡からみる近世アイヌ文化期の生業活動—」
○三谷智宏・添田雄二
- 13:30～13:50 「四谷一丁目遺跡における鳥類利用」
○許開軒・江田真毅
- (20分休憩)
- 14:10～14:30 「考古学から見た北海道のマルタニシ」
○松本建速・桑原康裕
- 14:30～15:10 「中国地方におけるカワニナ習俗」
○遠部慎・松田凌馬
- 15:10～15:30 「遺跡出土骨の全ゲノム解析における方法論的検討」
覚張隆史

閉会の辞 15:30